

島根大学における 社会教育主事講習の取組

～夜間・休日を活用した講習の成果と課題～

令和5年6月28日

島根大学社会教育主事講習運営ワーキンググループ

令和4年度島根大学社会教育主事講習の概要



社会教育士

社会教育主事講習

地域教育魅力化コーディネーター育成コース

主催：島根大学教育学部

— 地域づくり・人づくりに活躍する
学びの専門人材を養成 —

LOCAL COMMUNITIES

SCHOOLS

COORDINATORS



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

社会教育士と地域教育魅力化コーディネーターを育成

本学社会教育主事講習は、主体的、対話的、協働的、探究的な学びを通じて、学校や地域における「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に生かせるマネジメント能力、コーディネート能力、ファシリテート能力を身につけた「学びの専門人材=社会教育士」を育成します。また、島根大学履修証明プログラム「地域教育魅力化コーディネーター育成コース」を併設し、社会に開かれた教育課程、学校と地域の多様な主体とのつながりや仕組みづくりに取り組む地域教育魅力化コーディネーターを育成します。

コースの特徴

- ◆学校と地域の協働に重点化したカリキュラム！
- ◆オンラインを活用した対話的、協働的、探究的な学び！
- ◆現役実践者と大学教員による実践知と学術知の融合！
- ◆現場での実践に伴走する演習ゼミ！

履修内容

詳細はウェブシラバスをご参照ください。

- ◆生涯学習概論 (地域教育概論) → 地域学校協働活動や学びを通じた人づくり等を進めるために必要な社会教育・生涯学習の基礎となる知識を学びます。
- ◆生涯学習支援論 (地域学習支援論) → 地域資源を活かした探究的な学びや地域学習に関する教育理論、学習プログラムの構成、ファシリテーション技法等を学びます。
- ◆社会教育経営論 (地域教育経営論) → 多様な主体と連携しながらプロジェクトや課題発見解決等を進めるためのマネジメント能力を磨きます。
- ◆社会教育演習 (地域教育演習) → 地域教育に関する課題を設定し解決に取り組むプロジェクト学習を通して、総合的な実践力及び探究的に学び続ける力を磨きます。



修了者には、「社会教育主事講習」修了証書と「地域教育魅力化コーディネーター育成コース」履修証明書が交付されます。



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

R 4 島大講習年間スケジュール (集中4回・集合3回)

【7月】

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計		
	対面		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	コマ	時間	
概論																	4	400	
支援論	1																1	100	
経営論	1																3	300	
演習	1				1												2	200	
開講・集中④ (集合も想定)																	主事講習時間	10	1000

※7/16 (土) 開講～1/22 (日) 閉講
 ※7/16～17、9/23～24、11/26～27、1/21～22は、集中講義を予定。
 ※7月、9月、11月の集中講義は集合対面型も想定。
 ※平日の遠隔講義 (特に同時双方向型) の実施時間は19:30～21:10
 ※概論のオンデマンド配信予定日をピンク色で表示。

【8月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	コマ	時間
概論																																5	500
支援論			1																													2	200
経営論																																1	100
演習																																2	200
主事講習時間																	10	1000															

【9月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	コマ	時間	
概論																																3	300
支援論																																7	700
経営論																																2	200
演習																																2	200
主事講習時間																	14	1400															

【10月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計			
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	コマ	時間
概論																																		2	200
支援論																																		2	200
経営論																																	2	200	
演習																																	2	200	
主事講習時間																	8	800																	

【11月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計			
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	コマ	時間		
概論																																	0	0
支援論																																	2	200
経営論																																	6	600
演習																																	2	200
主事講習時間																	10	1000																

【12月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計					
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	コマ	時間
概論																																			0	0	
支援論																																			2	200	
経営論																																		1	100		
演習																																		2	200		
主事講習時間																	5	500																			

【1月】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	コマ	時間	
概論																																		0	0
支援論																																		1	100
経営論																																		2	200
演習																																		4	400
主事講習時間																	7	700																	

7/16
 開講式 09:00-09:15
 1コマ目 09:20-11:00 経営
 2コマ目 11:10-12:50 支援
 昼+α 12:50-14:20
 3コマ目 14:20-16:30 演習

7/17
 全体 09:00-09:20
 1コマ目 09:20-11:00 演習
 2コマ目 11:10-12:50 概論
 昼 12:50-13:50
 3コマ目 13:50-15:30 経営

9/23
 全体 09:00-09:15
 1コマ目 09:20-11:00 支援
 2コマ目 11:10-12:50 支援
 昼+α 12:50-14:20
 3コマ目 14:20-16:30 支援

9/24
 全体 09:00-09:20
 1コマ目 09:20-11:00 支援
 2コマ目 11:10-12:50 支援
 昼 12:50-13:50
 3コマ目 13:50-15:30 支援

11/26
 全体 09:00-09:15
 1コマ目 09:20-11:00 経営
 2コマ目 11:10-12:50 経営
 昼+α 12:50-14:20
 3コマ目 14:20-16:30 経営

11/27
 全体 09:00-09:20
 1コマ目 09:20-11:00 経営

総合計

コマ	時間	OD
14	1480	9
17	1700	
17	1700	
16	1600	
64	6400	

概
支
経
演
合計

島根大学社会教育主事講習の取り組みの前提

<目的>

- ① 全国からの受講者が学び合う環境をつくることで山陰地域の受講者に日常とは異なる学びの刺激をもたらすこと
- ② 受講者が現場でのPBLを通して理論と実践を往還しながら学びを深めること
→講習期間を比較的長期に設定
- ③ 主事発令を想定しない者を含む多様な受講者の越境的な学びの場をつくること



<方法>

「夜間・休日」でのオンラインによる実施を選択

- 講習で実現したい学びの場のあり方から実施方法が導かれてきたこと
- 夜間・休日での講習の実施にはオンライン授業が不可欠と思われること

講習の取組状況～実施にあたって工夫した点など～

共同編集機能の活用

- クラウド上でのリアルタイムの共同学習
- 受講者間の意見の共有

授業中は画面オン

- 出席状況・受講態度の確認
- 対話の促進

	A	B	C	D	E
20	13:50	30	トークフォークタイム ・深めのテーマで	サポーターも混じって行う。 【OL対応】要検討	
21	14:20	5	場面転換	12ゼミごとに大集会室内にブース	
22	14:25	120	演習1 (根岸、原) ・ゼミ決め導入 (原) -ゼミの位置づけ、決め方、意向調査の結果、修了生のゼミ選択経験談 ・ゼミツアー (全体で30分) ショートプレゼンを聞きに行く (2分×3回転) 希望するゼミに相談に行く (20分) ・ゼミ決め (決まるまで) 学習者と修了生だけの空間を作る (修了生のゼミ経験談)	【OL対応】 各Zoomと卓上マイク&スピーカーで参加してみる 状況的に厳しければ、途中でも取りやめる。 (対面会場ゼミ決めほぼ決定時点で、5名以下&6人対応可能なゼミの中から選択) 修了生	
23	16:25	5	アナウンス (原) ・2日目の開始時間		
24	16:30	50	解散		

BOR機能の活用

- オンラインでの対話的な学びの実現
- テーマ別のルーム設定による多様な学習要求への対応
- オンラインサポーターの配置

チャット機能の活用

- 講義の感想のリアルタイムでの共有
- 授業で拾いきれない質問等への対応

講習の取組状況～実施にあたって工夫した点など～

関係づくり

対面での授業を3回実施

- 開講式を含む最初の対面授業での受講者・講師の関係づくり



授業参画

LMSの活用

- 授業外の時間も含むコミュニケーション
- 現場の活動情報を発信できる掲示板
- オンライン交流会や授業の延長戦の実施



受講者のモードを仕事から講習へと切り替える：チェックインやラジオ
受講者へ参画のはしごを用意する：授業意図の共有や授業づくりへの参画

安心安全な学習環境を整え，オンラインでの授業への積極的な参画を促す



休日

来・帰巣時間を考慮した開始終了時間の設定／授業中の託児サービス（未）

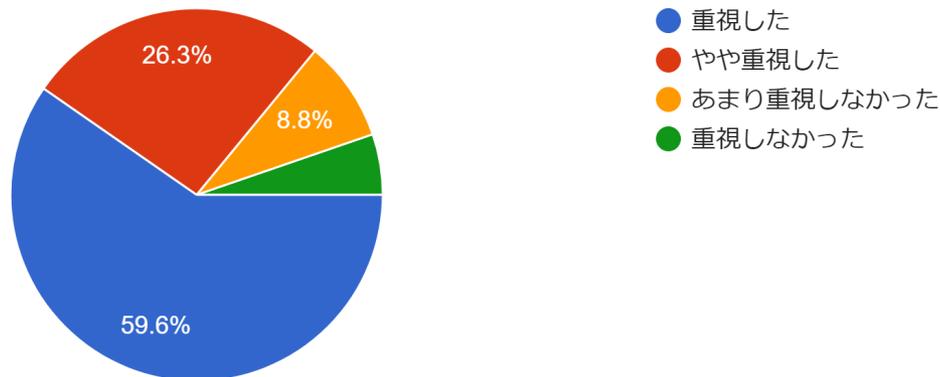
受講生の声～夜間・休日実施に関連する受講生のコメント～

3. (受講の検討段階で) あなたは、

島大講習が主に「夜間・休日」...講の判断基準として、どの程度重視しま

島大講習が主に「夜間・休日」に開講されて

基準として、どの程度重視しましたか？



2023年6月6日～6月8日実施
R3・R4修了者108名中
57件の回答

島大講習が主に「夜間・休日」に開講されていて
よかったことは何でしたか？

- 日中はフルタイムで勤務しており、短期集中であれば絶対に受講できなかった。
- 仕事にはほぼ影響なく受講できた。職場の理解や協力にもつながった。
- 業務時間外の受講のため、仕事・育児との両立がしやすい。
- 夜に学びの時間があることで、自身の働き方に良い変化があらわれた
- 自分で自分の時間を確保する必要があるため、必然的に意欲的になれたこと
- 長い期間、遠隔とはいえ密に多くの人と繋がることで、人とのつながりが深くなった。

島大講習が主に「夜間・休日」に開講されていて
困ったことは何でしたか？

- 仕事上、どうしても休めない日と重なり、やむを得ず講習を欠席しなければならない時。
- 家庭の協力が不可欠。子育て世代は家族に負担が多少なりともかかった。
- 子どもが小さく、自宅の部屋も狭いため、子どもの声や様子を気にしながらになってしまったりと、子育てとの両立が難しく感じられる場面があったこと。
- 本業の終業からあまり時間が空かないので、残業の後などは切り替えがしきれず、大変だった。
- 夜間・休日といえど部活があるため、時間をつくるのは少し苦労した。中高の教員には少しハードルが高い講習かもしれません。

受講生の声

～オンライン講義に関連する受講生のコメント～

対面・オンライン併用への肯定的意見

オンラインとリアルの良さを組み合わせ、他地域からも参加できる形になっていた。

対面とオンラインと両立ができて、仕事に迷惑かけずに講習を受けられた。

遠方から参加している立場としては、対面講義とオンライン講義のバランスがちょうど良かった。

オンデマンド講義や遠隔ライブなど、運営面では大変なこともあったかと思うが、東京から参加できて感謝している。

オンラインへの否定的意見

WEB講義の限界を感じた。実施現場の視察会などがあれば、尚良かったと思う。

同期型LIVE授業において常に顔出しが強く求められ疑問を感じた。現場の教員は相当の覚悟と気合がないと受講できないと思った。

集合研修が3回あったことにも感謝していて、これがオンライン上でのみの講習だったら個人的には大満足ではなかったと思う。

GoogleドライブやSlackに慣れるまでに時間がかかった。オンラインでの学びの経験がない方にとっては苦しいと思った。対面講習はなくさないでほしい。

最終の集中講義は対面で開催してはどうか。

ズームの講義自体は、ものすごく工夫されていたが、やはりもう少し対面があったら良かった。

夜間・休日を実施する場合の課題

＝特に夜間実施の場合、
必然的にオンライン授業とならざるをえない

①受講者の学習環境

オンラインの場合、

双方向の充実した講習には受講環境が絶対条件となる

②プライバシーの課題

画面**off**の状態では、受講状況を把握しきれない

画面をたえず**on**にするよう指示しているが、受講者にとっては負担

③家庭の事情や出産・育児への対応

夜間実施・休日実施の両方について、

私的な事情により受講しにくい状況が起こりやすいこと

夜間・休日を実施する場合の課題

＝特に夜間実施の場合、
必然的にオンライン授業とならざるをえない

④対面の重要性

社会教育士としての資質・能力の育成に
完全オンラインは望ましくない

⑤時間と資金面の課題

島大講習は、多数の実践者・研究者と一緒に手作り
現状では、授業開発・準備が十分とはいえない
コンテンツを開発するための準備もさらに必要
そもそも多数のスタッフに経費がかかる